

ハイブリッドセミナー 治験について正しく知ろう

神経・筋疾患患者向け

「治療薬は、いつできるの?」と聞く前に
治療薬は、患者が参加してつくるもの

技術も、お金も、人も必要。
でも患者が治験に参加しないと、薬はできない



会場&オンライン

日 時

2025年 7月27日(日) 13:30~17:00

会 場

AP東京八重洲 Wルーム
東京都中央区京橋 1-10-7 KPP 八重洲ビル

定 員

会場: 70名 / オンライン: 450名

申し込み・詳細

<https://dm-family.net/ct2025/>

申し込み締切

2025年 7月21日 *この日の前に定員に達した場合は申込を締め切ります。



プログラム

13:30～13:40 趣旨説明

神経・筋疾患の患者と家族が治験について知る意味とは？

筋強直性ジストロフィー患者会 妹尾みどり



13:40～14:20 治験のキホン

治験の一般的な知識と今の状況を説明します。

国立精神・神経医療研究センター 中村治雅



14:20～15:00 治験で薬の効果を測ることとは

効果のある薬かどうかを「測る」ための決まり事を知っておきましょう。

大阪大学大学院 高橋正紀



15:00～15:20 休憩

15:20～16:00 治験と倫理～患者の役割を大切にするために

患者を大切にするために必要な決まりがあること、知っていますか？

神奈川歯科大学特任教授 栗原千絵子



16:00～16:40 PMDA における新薬の審査について

PMDA で行う薬の審査は、全患者にとって大事です。
どんな審査かを解説します。

医薬品医療機器総合機構（PMDA） 星野 達郎



16:40～17:00 質疑応答

主催：認定特定非営利活動法人 筋強直性ジストロフィー患者会（DM-family） <https://dm-family.net>

協力：筋強直性ジストロフィーの自然歴とバイオマーカー研究—国際協調と先天性を含めた全年齢化

お問い合わせ： contact@dm-family.net（お電話でのお問い合わせは受け付けておりません）

本ハイブリッドセミナーは、Avidity Biosciences Inc. からの助成を受けて開催します。